

# 平成28年度 胎内市算数部 活動報告

部長 網代 鋼一

## 1 研究主題

- 授業について教材研究や情報交換及び授業実践を通して、指導力の向上と小中連携を図る。

## 2 研究の概要

- 各個人が実践した教材研究や授業の情報交換を行う。
- 授業参観を通して教材についての理解を深め、指導力の向上を図る。

## 3 研究の実際

(1) 第1回部会 「事業計画の立案」 会場 胎内小学校

(2) 第2回部会 「実践情報交換会」 会場 胎内小学校

- ・ 胎内市共通で実施されている「学習過程」から、特に「学び合う」過程について会員の実践レポートをもとにグループで情報交換を行った。日々の授業の中で「どんな課題で、どの場面で、どのような関わらせ方をどのように投げかけ、どんな成果があり、どのような課題があったのか」など、学び合い、関わり合いを取り入れた授業の実際について語り合い、授業改善につながるポイントを交流した。

(3) 第3回部会 「授業研究会」 会場 黒川小学校

① 指導者 下越教育事務所 指導主事 石塚 文弘 様

② 授業者 今井 雄一郎 教諭

③ 単元名 「比例と反比例」(6学年)

④ ねらい 比例関係を利用した多様な考えを比較・検討する活動を通して、きまった数を用いることよさに気づき、問題を解決することができる。

⑤ 協議会の概要と指導内容

身近な素材を扱い興味を引く課題の提示に工夫があった。一方、学習内容が多くなり、まとめ(数学的なよさ)を実感させるには至らなかった。また、児童の考えをサポートする意図でワークシートを用いたが、逆に児童の思考と表現を縛ってしまった面も感じられた。学習班で考えを交流したり、考え方をネーミングしたりするなど関わり合いのもたせ方の工夫については効果が見られた。



## 4 成果と課題

(1) 成果

- 情報交換会は、個々の授業実践をもとにしたことで、具体的な授業場面について課題と手立てについて学年、校種を超えた情報交換を行うことができた。特に小学校、中学校のそれぞれの実態や接続についての考え、共通の課題について情報交換できたことは有意義であった。
- 授業研究会では、考えの交流場面で、発表の視点(共通点やよいところ)を与えることで、交流の方向性もち、関わり合う姿が見られた。「学び合い」の場面での授業改善の視点を得ることができた。

(2) 課題

- 胎内市の学習過程について共通理解を深めるとともに、関わり合わせ方や関わり方のスキルについて、情報交換や意見交換を通して小中の連携を進めていく必要がある。